

北海道地方メディア連携協議会（第5回） 議事概要

日 時：令和5年11月20日（月）10時00分～16時00分

場 所：午前：札幌管区气象台 会議室 + WEB 会議併用

午後：現地見学（気象観測機器、望月寒川放水路、月寒川下流）

出席者：旭川ケーブルテレビ株式会社、株式会社朝日新聞社北海道支社、株式会社STVラジオ、株式会社帯広シティーケーブル、札幌テレビ放送株式会社、株式会社ジェイコム札幌、株式会社時事通信社札幌支社、株式会社十勝毎日新聞社、株式会社日本経済新聞社札幌支社、日本放送協会札幌放送局、株式会社ニューメディア函館センター、北海道テレビ放送株式会社、北海道文化放送株式会社、株式会社読売新聞社北海道支社、国土交通省北海道開発局、気象庁札幌管区气象台、北海道

【議事】

■午前の部（座学）

1. 今年の出水の振り返り
2. 水害・土砂災害情報の提供・伝達に関する取組状況等
 - 1) R4アンケート結果及び取組状況（開発局）
 - 2) 北海道の災害情報の取得状況について（北海道）
 - 3) 令和5年出水期の主な改善事項（气象台）
3. 合同記者会見に関する意見交換

■午前の部（現地見学）

1. 現地見学箇所の概要説明
2. 現地見学①（【気象庁札幌管区气象台】気象観測機器）
3. 現地見学②（【北海道】望月寒川放水路）
4. 現地見学③（【北海道開発局】月寒川下流）

【意見交換における主な意見等】

- ・ 水位上昇時にどの水位でニュースにすべきか、何を伝えるべきかの参考とするため、氾濫危険情報や避難指示がどのようなタイミングで出されるのか教えてほしい。
- ・ 合同記者会見の映像を配信する際は、画面上で説明資料と話をしている人の顔が写るようにした方がよい。
- ・ 合同記者会見の映像を配信する際、画面上に手話の映像を入れる予定はあるか？
- ・ テレビ中継で合同記者会見の映像を流せる時間は限られているため、「今後氾濫する可能性のある河川」などの重要な情報は、会見の冒頭数十秒程度でメッセージとして呼びかけるようにするとより危機感が伝わる。
- ・ 過去に大雪や大雨で合同記者会見が行われた事例はあるか？
- ・ 新聞のように紙面で取り扱う場合は、事前防災や事後の振り返りなどで防災に関する情報発信が可能。災害の要因や被害状況、再度災害防止に関する情報の入手方法を教えてほしい。

以上